



操南学区（上藤崎町内会）における取組内容



1 操南学区（上藤崎町内会）



- 岡山市中区に位置
- 世帯数169世帯
- 会員数546人（※R3、10月時点）
- 河川に挟まれたエリアに位置
学区全域が浸水想定区域内
洪水の浸水想定2~5m

2 取組体制

- 地域の関係者
 - ・ 上藤崎町内会自主防災会
 - ・ 取組主体
- 協力機関
 - ・ 香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構（IECMS）
特命准教授 磯打千雅子氏
 - ・ 研修会講師、訓練内容への助言
 - ・ 担当ケアマネジャー
 - ・ 計画内容への助言
 - ・ 岡山市立操南中学校
 - ・ 避難訓練での中学生ボランティアの協力
 - ・ 岡山市立操南公民館
 - ・ 避難訓練での防災グッズ作成講座の開催
- 岡山市関係機関
 - ・ 危機管理室
 - ・ 取組全般への支援、助言

3 取組の流れ

① 研修会の開催

→ 計画作成の必要性や方法を学ぶため有識者による研修会を開催。



② 対象者宅への訪問・聞き取り

→ 対象者宅を訪問し、取組内容について説明し、本人の状況について聞き取り等を行う。
→ 介護サービス利用者については、担当ケアマネジャーから、本人の状況や支援内容について助言をもらう。

③ 調整会議

→ 対象者の家族や近隣住民、自主防災会等の関係者が集まり、チェックリストに基づき、本人の状況や避難方法を整理。
可能ならその場で計画書に必要事項を記入。



④ 関係者間で計画を共有

→ 計画書は市へ提出するとともに、本人と支援者、自主防災会で共有。

⑤ 避難訓練を実施

→ 計画作成した要支援者本人も参加し、地域全体で避難訓練を実施。
近隣中学校の生徒が、防災学習の一環としてボランティア参加。

■ 訓練の様子

① 安否確認用タスキ掲示訓練

→ 訓練当日朝に災害時の安否確認用に自主防災会で購入した共通のタスキを家の玄関先に掲げる。



② 避難経路確認訓練

→ 班ごとに避難先までの経路を歩き、危険箇所や避難先の設備などを確認。



③ 公民館職員による防災グッズ作成講座

→ 近隣の公民館の職員が身近なもので防災グッズを作成する講座を開催。



④ 振り返りワークショップ

→ 避難経路確認時に気づいたことや今後の課題などについて共有。

